# 高等小學書キ方手本

女子用

第一學年下甲種

K140.72
2.21
1下

K140.72
2.21
1下

# 高等小學書キ方手本

女子用第一學年下甲種

文部省

嘉永安政萬延文

高一甲下

久元治慶應明治

高一甲下

窓掛絨氈食卓椅

高一甲下

三

子花瓶置物呼鈴

高一甲下

四

驚き顔に鳴くひぐらしの
聲一しきり止みにし後を

高一甲下

五

またたく星に夢護らせて
靜かに眠る夜の森林。

高一甲下

六

設備遊覽觀客珍

高一甲下

七

禽異獸艷麗豪壯

高一甲下

八

長幼の序を紊るは私人の家にありてすら濫りには行ふべきにあらず。ましてこれは公方家なり。若しさる事もあらば自然天下の大



高一甲下

事にも立到るべし。如何にもして竹千代君に将軍家の後を嗣がせまゐらせばやと神佛に祈願をこめてますゝ思を教養に勞しけり。



高一甲下

母上様は逝去の電報を拝見致し
ふ矢に驚き入り先日来数度の手紙にては
進さは快方の様様にこれあり安心致居り
突然の出来事にて全く夢かとのみ思はれ





はは様始め兄様は気様の程察くは察し
申し上げ地の手紙なども少からず出来後にも
手紙にては元気なくとの存じ何か急に御病
にてもお起りなきにやと思ひすぐも御念に存じ

古史通。藩翰譜。讀



史餘論。折焚槀記。

歲暮。中元。慶弔。粗

品。薄謝。餞別。香奠。

株式會社ハ多人數ノ資本ヲ合同スルモノニシテ全ク有限責任會社ナリ。其ノ總資本ヲバ少額ニ等分シ其ノ一ヲ名ヅケテ株式トイヒ又略シテ株トモイフ。一株ノ金額ハ普通五拾圓ヲ下ラズ。而シテ其ノ出資者ヲ





稱シテ株主トイフ。會社ハ株主ニ對シテ證書ヲ附與ス。其ノ證書ハ即チ株券ナリ。株主ハ其ノ株券ヲ他人ニ讓リ渡スコトヲ得ルガ故ニ株式會社ノ出資者即チ株主ノ員數ハ常ニ一定セズトイフベシ。

持つ人の心によりて尾ともゝ
玉ともなるはこがねなりけり。

高一甲下

二十一

人知れず思ふ心のよしあしも
照しわくらん天地の神。

高一甲下

二十二

人の怪を笑ふことなかれ。
己の長を説くことなかれ。

高一甲下

二十三

人に施しては慎みて答ふ勿れ。
施を受けては慎みて忘る勿れ。

高一甲下

二十四

晴精鯖鯖。洞桐胴銅。渚楮緒
諸。權勸歡觀。愉諭輸鍮。野厘



量裏。賑宸農震。場楊陽腸。綱
鋼剛。城誠盛。俸捧棒。倫論輪。

箱根越す人もあるらし今朝の雪。

宿貸せと刀投出す吹雪かな。

高一甲下

二十七

狼の聲揃ふなり雪の暮。

荒熊のかけ散してやさこの雪。

高一甲下

二十八

種田。後蘇。後多壑。

奉書紬鈔子鹽瀨
絲織銘撰海氣郡



内風通縮緬紗絽
天鵞絨繻珍羅紗

清瀧川も氷解け
高尾山も新緑なり。





四方の高嶺の雪なく
紫ゐる春になりぬらし。

作戰計畫。包圍。兩

翼。豫備。背面。聯絡。

月日の過行くは梭の飛ぶよりも
速し。昨日今日種を下し苗を移せし
花卉野菜の花咲き實を結ぶも



しばしの程ぞ。日々の課業と共に
樂しきは我が學校園なり。
待たるゝものは秋の日にこそ。

K140 ア2-2,21-1下

明治四十五年四月二十五日翻刻印刷
明治四十五年六月十二日翻刻發行

高等小學書キ方手本女子用第一學年下甲種

定價金參錢

著作權所有

明治四十五年四月三十日
文部省檢査濟

著作兼發行者　文部省
書　者　日高秩父
翻刻發行兼印刷者　大阪市南區雛鶴菁原町千百八十八番地ノ九　大阪書籍株式會社　代表者　三木佐助
印刷所　大阪市南區雛鶴菁原町千百八十八番地ノ九　大阪書籍株式會社

發賣所　東京市日本橋區新右衛門町十六番地　株式會社國定教科書共同販賣所